

受賞者 2 人を表彰

中学生の税についての作文

このたび税を考える週間実行委員会が主催する中学生の「税についての作文」の受賞者が発表されました。

本年度は玉名荒尾地区の中学校から1,049点の応募があり、長洲中学校から2人の生徒が各賞を受賞しました。

【長洲町長賞】 「よりよい社会」 福田レイさん（長洲中学校3年）

【長洲町教育長賞】 「税金は生活の土台」 山本美玖さん（長洲中学校3年）

ここでは、長洲町長賞に選ばれた福田レイさんの作文を紹介します。



福田レイさん（上沖洲）



山本美玖さん（立野）

「よりよい社会」

長洲中学校3年

福田 レイ

私は税金という言葉についてマイナスなイメージしか持つていませんでした。なぜなら、生活に余裕がなくなるからです。しかし、租税教室でもしも税金がなかつたら…というビデオを見て、税金のおかげで私たちは、あたりまえに病気の治療ができる、教育を受けられて、安全に生活ができていることが分かりました。私は本を読むことが好きです。最近読んだ中で印象に残っているのは、「私はマララ」や「スラムに水は流れない」という本です。「私はマララ」では、学校へ通いたいけどお金が払えない子どもたちがいることを知りました。「スラムに水は流れない」では設備の整った病院で治療を受けられない人たちがいることを知りました。これらを知つて私は学校で勉強ができる、病院で治療ができること、その税金を納めてくださっている方々に感謝したいと思いました。また、本では病気の親の代わりに働きに

私たちには、生活に困つたら生活保護を受ければ子どもが働かないでも学校へ通えるから、これも税金のおかげなんだなと思いました。行ったり、兄弟の世話をするために学校に通えない子どもたちがいることも書いてありました。

それから、私がより税のありがたさを実感できたきっかけは、弟です。弟は幼い頃、喘息がひどく入院を繰り返していました。今では、治療費について考えたことはなく、自腹なのかなくらいにしか思っていませんでした。しかし、学校で税金について学んでからは弟の治療費が税金によって支えられていたことを知りました。現在弟は、毎月病院で吸入をもらいますが、私とけんかできるほどとても元気に生

活しています。

このように、私たちの安心・安全な生活は税金によって支えられています。私も将来、働いて国に税金を納めていきます。そして、私たちの納めた税金を、私たちのよりよい暮らしのために役立ててくれるリーダーを選ぶために、積極的に世の中の出来事に関心を持とうと思いました。



地域の絆づくり

11/15 六栄小学校区秋祭りを開催しました

地域の絆づくりや活性化、親睦を深めるために六栄小学校区秋祭りが開催されました。当日はステージ発表や展示、出店などが並び、大いに賑わいました。また、フィナーレでは、長洲音頭を来場者含めみんなで踊り、秋祭りを締めくくりました。



小学生による合唱（ステージ発表）の様子



ごみってなんだろう？

スミセイアフタースクールオンラインを開催

にじいろはうすでスミセイアフタースクールが開催され、当日は六栄小学校放課後児童クラブ児童約35人が参加しました。講師には、ごみ清掃員としても活動する、マシンガンズの滝沢秀一さん（お笑い芸人）を迎え、ごみの捨て方などを実際にごみの分別をしながら楽しみながら学びました。

この事業は住友生命保険相互会社と放課後NPOスクールによる教育プログラムであり、「学童保育」や「放課後子供教室」により楽しく子ども達が成長できる場所とすることを目指し実施されています。



参加した児童達



親支援のコミュニケーションを学ぶ

「つなぐつながる研修会」を開催

町では、町内の療育事業所や学校・保育園関係者などを対象に、保護者支援についての理解を深め、適切な対応について学ぶことを目的とした研修会を開催しました。

当日は、九州看護福祉大学の上田教授を講師に迎え、実践を交えながら保護者とのコミュニケーションの工夫を学びました。

参加者からは、「自分自身の行動や言葉掛けを見直すきっかけとなった」、「今後の支援に活かしていきたい」といった感想が聞かれました。



講師の話を聞く参加者の皆さん



「長洲みんなでほんごひろば・防災教室」を開催しました

当団は「にほんごひろば」で日本語の勉強をしている外国人や、日本人サポーター38人が参加しました。

阿蘇の「熊本地震震災ミュージアムKIOKU」では、地震の時の写真や映像を見たり、防災士の話など、2016年の熊本地震について学びました。また、草千里と阿蘇神社に訪れ、交流を深めました。

参加者は、「地震のことを知ることができてよかった」「またみんなと一緒に楽しく学びたい」「きれいな景色が見れてうれしかった」と話しました。



被災地の写真を真剣に見る参加者



地域の伝統文化に触れる

腹赤小学校で神楽体験学習

清源寺神楽保存会（田上正二会長）は、腹赤小学校（今脇三仁校長）の3年生を対象に清源寺神楽体験学習を開催しました。

この日は、紙芝居で清源寺神楽の発祥や歴史などを学んだ後、清源寺神楽保存会による神楽を見学しました。その後、舞・太鼓・笛の3グループに分かれて神楽の体験も行いました。

体験した子どもたちは、「楽しいけど笛が難しかったです」と話しました。



体験した成果をみんなで披露しました



租税教育で活用してほしい

～玉名法人会から下敷きを寄贈～

（社）玉名法人会 長洲地区（市原一廣地区長）は、町内の小学5年生および6年生に租税教育用下敷きを寄贈しました。

これは、税を考える週間の中で、租税教育の環境醸成と地域貢献の一環として、全国の各法人会が昭和55年から取り組まれています。

市原地区長をはじめ、玉名税務署の坂田統括国税調査官、玉名法人会の高森事務局長が来庁し、税について解りやすく説明された下敷きを松永教育長に手渡しました。



下敷きを寄贈する市原地区長（中央右）と坂田統括国税調査官（左）、高森事務局長（右）



12/4 家の中の安全について考えよう LIXIL有明工場が出前授業を開催しました

株式会社LIXIL有明工場（水道豪一工場長）は、長洲中学校（田中良幸校長）の1年生を対象に出前授業を開催しました。

これは、家の中での事故が交通事故と比べて約4.4倍も多く発生していることから、家の中での事故について考え、安全に過ごすための知識を身につけてもらうことを目的に開催したものです。

この日は、同社の社員が講師となり、事故を防ぐための暮らし方の工夫や設備に施してある工夫などを学びました。

生徒たちは、「小さい子どもから高齢者まで安全に使えるように工夫されててすごいと思いました」と話しました。



家の中での事故についての話を聞く生徒たち

...



12/8 磯町公民館でおせち料理 交流深める“迎春クッキング”

磯町区（入口秀記区長）は、公民館でシニア女性の料理教室を開催しました。この教室は2カ月に1度のペースで行われており、この日は12人が参加しました。桜えびの炊き込みご飯、紅白なます、魚の柚庵焼き、鶏肉の松風焼き、かぼちゃきんとんの5品を作り、和やかな雰囲気の中で調理が進みました。参加者からは「お正月に家族と楽しみたい」との声が寄せられました。



みんなで新年を彩る準備中

...



12/11 長年の功績をたたえて 馬場勝さん瑞宝単光章を受章

令和7年秋の叙勲において、元消防団副団長の馬場勝さん（清源寺区）が瑞宝単光章を受章し、県庁で行われた叙勲伝達式で、木村知事から勲記と勲章が手渡されました。また16日、町役場で町長へ叙勲受章の報告が行われました。

馬場さんは、昭和57年から36年間にわたり消防団に在籍し、消防団員育成強化や女性消防団員育成に尽力しました。

馬場さんは「先輩からの指導と後輩の理解、地域の皆さまのご協力でここまでやってこれました」と話しました。



馬場勝さん（左）



12/5 伝統工芸に触れる 一先窯出前講座を開催

郷土の伝統工芸を学ぶ一環として、長洲小学校（坂本和也校長）の4年生が小代焼の制作を体験しました。講師には、小代焼一先窯の山口友一さん・博子さんご夫妻をお招きました。児童たちは、初めて触れる土の感触を楽しみながら、湯飲みや茶わんなどそれぞれが思い思いの作品を制作しました。体験後、児童たちは、「とても楽しかった。焼き上がりが楽しみです」と話しました。郷土の伝統に触れる、貴重な学びの時間となりました。



アドバイスをうける様子



12/11 清里小学校6年生と一緒に 長洲駅清掃ボランティア

町青少年育成町民会議（本田秀二会長）は、清里小学校6年生と長洲駅内の清掃ボランティア作業を行いました。

また、清掃だけではなく長洲駅南側の金魚オブジェの両隣の花壇に花の苗を植えました。

当日参加した児童たちは「普段できない花を植える作業を友達と楽しくできてよかったです」と話しました。



参加した児童と町民会議の皆さん



九州管区連盟表彰 交通安全功労者として表彰

吉田正さん（腹赤新町区）が九州管区連盟表彰交通安全功労者として表彰されました。これは過去に緑十字銅章を受章され、なおいっそう地域の交通安全の為に献身的に尽力をし、多年にわたって交通事故防止活動などに貢献した人に、九州管区警察局長および九州交通安全協会長から贈られるものです。



荒尾警察署にて表彰を受ける吉田さん